



学校だより

令和8年1月23日

2月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校

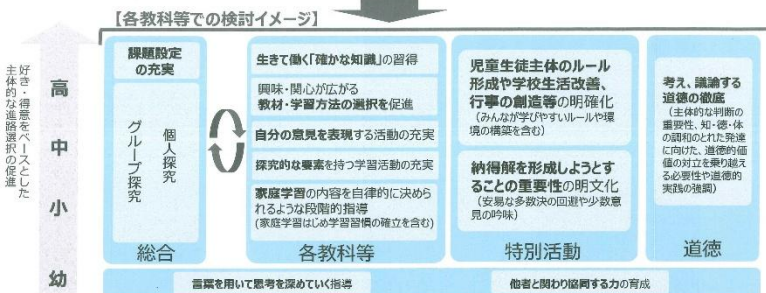
「好き」を育み、「得意」を伸ばす

副校長 石川 和之

一年間に4回ある「節分」のうち、最もクローズアップされるのが立春の前日の2月3日です。暦のうえでは春を迎えます。本校隣の日枝神社でも節分祭が行われ豆まきをされるそうで、子どもたちも楽しみにしています。

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる



さて、表題の「『好き』を育み、『得意』を伸ばす」ですが、昨年9月末に文科省から出された次期学習指導要領作成に向けた論点整理の中のキャッチフレーズです。子ども一人ひとりの「好き」や「得意」を原動力として、学び

全体への主体性を大事にしていこうと日本全体で考えられています。この図の左側に位置づく「総合」ですが、全国の学校で実践され始めるさらに昔の41年前から本校では取り組み始めました。「知識詰め込みの学校を変えたい」、「生きて働く知識を身に付けられるようにしたい」という当時の阪本校長を中心とした教職員の想いをもとにスタートしています。「言われたことや決められたことができるようになる学び」から、「自分自身で課題を発見し、その解決方法を探っていく学び」の重要性が、今声高に叫ばれていますが、実はこれが非常に難しい。「教科書を中心とした学び」から、「学習対象にじっくりと向き合う学び」が重要になってきたからです。

様々な学習対象と関わり合い、「好き」を見つける、やってみよう!を見つける、どうしてだろう?を見つける、解決したい!を見つける、自分にできることがあればやってみよう!を見つける。こういった子どもの想いを、日枝小学校では41年前から地域とじっくり関わることで高めてきました。横浜市学力・学習状況調査の結果からも、正答率はまだまだ低いですが「学力を伸ばした児童の割合」は市平均を上回っており、これは「なかま(生活科・総合)」の学習を中心に学習への主体性を高めてきたことと相関関係があることが分かっています。

PTAが日枝っ子友の会になって5年。「なかま」の学習と同じように地域や保護者の皆様の「自分にできることがあればやってみよう!」の想いに支えられて成り立っています。年末年始は、各町内会主催の餅つき大会に参加してきました。先週末は共進町一丁目町内会の焼き芋大会に。どの地域も、少しずつ外国につながる児童のご家庭の参加も増えてきていて、様々な家庭環境に関わらず、みんなで子どもを育てていこうという機運を感じています。



2月21日には「日枝っ子まつり」が開催されます。ぜひ子どもたちの「好き」や「得意」に声援をいただければ嬉しいです。また、当日11:45～は体育館にて「日枝っ子友の会総会(友の会カフェ)」も開催されます。来年度は6年目となる日枝っ子友の会に向けて、ぜひ多くの保護者の皆様のお知恵をお借りしたく存じます。お待ちしております。